

孤高の画家

Exhibition of Taito Huginiya

釘宮 対 宍 展



プラハの女 1976年作



嫦娥 1980年作

孤高の画家として生涯どの美術団体にも属さず、66歳で世を去るまで3,000点以上の作品を残した釘宮対宍は、1920(大正9)年、現在の大分県臼杵市に生まれました。小学生の頃から絵画の才能を発揮、京都での少年時代には寺社巡りをし、池大雅や、雪舟、蕭白などの作品の鑑賞や模写は、その後の芸術活動に大きな影響を与えました。

26歳で復員後は、郷里大分に戻り中学校の美術教師をしながら制作を続けましたが1959(昭和34)年退職、横浜に移り本格的に制作活動に入ります。1970(昭和45)年初めて渡欧。外国の壮大な風景や古典音楽、文学など様々なテーマを日本の伝統技法による水墨、墨彩で描く新しい表現方法で画壇や時代に迎合せず、独自の絵画世界を拓きました。1981(昭和56)

年静岡県沼津市にアトリエを構え、新たな創作意欲を燃やしましたが、20年前、1986(昭和61)年8月に筑西市木戸の病院で66歳の生涯を終えました。今展は、水墨画から長大な絵巻物、墨彩画、油彩画など真に描きたいものだけを精力的に描いた孤高の画家釘宮対宍の作品から約60点をゆかりの地で筑西市誕生1周年を記念して展覧します。

2006年4月8日(土)～5月28日(日)

開館時間：午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで) / 休館日：月曜日
入館料：一般(大学生以上)500円・団体(10人以上)400円・高校生以下無料
主催：しもだて美術館・筑西市・筑西市教育委員会 後援：NHK水戸放送局・茨城新聞社
*会期中は常設展ならびに板谷波山記念館もご覧いただけます。

●関連行事 『ギャラリーコンサート』 4月8日(土) 午後2時～ 場所：しもだて美術館 ヴァイオリン：ヤーン・シュ・マター ピアノ：ベンジャミン・ラヴィッツ モーツァルト：ヴァイオリン・ソナタK454 他

しもだて美術館
Shimodate Museum of Art

筑西市丙372(アルテリオ3階)
TEL 0296-23-1601
<http://www.city.chikusei.lg.jp/museum/>

『タイの民俗舞踊としらとり太鼓』4月15日(土)
午後1時30分～ アルテリオ集会室

編集後記

ウォーキング大会の取材に同行。注意事項と準備体操があり、いよいよコースへ。水戸市や牛久市、さらには県外の宇都宮市からも参加があり、ウォーキング熱の高まりと健康への関心があることに驚く。歩くスピードが思ったより速く、参加者の中には年配の人も多かったが、その健脚ぶりは目を見張るほど。日頃の運動不足を感じさせられた一日だった。(も)



サンシュウ(ミズキ科) 早春の山や公園、庭園を彩ります。この時期、周りに花が少ないので目立ちます。

関城中学校の卒業式を取材しました。∞が中学校を卒業したのは20年以上昔のことで、ずいぶん年をとったものだ実感しながらも関城中へ。式典は進行して、いよいよ最後の式歌斉唱です。「仰げば尊し…」と歌う卒業生の目に光る涙。ファインダー越しにその光景を見ているうちに、その純粋さに心を打たれ、こちらまでもらい泣きしそうになってしまいました。(8)